

2018年10月3日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院糖尿病・内分泌代謝内科（第一内科）に、2型糖尿病で通院中の患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第一講座（糖尿病・内分泌代謝内科）では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

糖尿病性腎臓病の発症進展に関与する臨床的因子に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部部長/糖尿病・内分泌代謝内科准教授 西 理宏

3. 研究の目的

人工透析の原因となる病気で1番多いのは糖尿病です。糖尿病のせいで腎臓が悪くなる糖尿病性腎臓病をできるだけ早く発見し、重症化を予防することが求められています。現在、尿のアルブミンを測定することが早期発見に重要とされていますが、尿にアルブミンがでなくても腎機能が悪化する場合があります。この研究では尿のアルブミン以外の腎機能が悪化する指標を見つけるために行います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

成人の2型の糖尿病の患者さんで、2018年10月3日（承認後）から2023年3月31日までの期間中に、腎機能の検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、体重、身長、体組成、糖尿病罹病期間、HbA1c、血圧、脂質、治療薬剤、腎機能(eGFR)、尿アルブミン、尿蛋白などに関する情報です。

(3) 方法

この研究では、腎機能の悪化していく速度（eGFRという検査の低下具合）と他のデータとの関連を調べて、腎機能悪化に関連する要因を明らかにします。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部 担当医師 西 理宏

TEL : 073-441-0625 FAX : 073-445-9436 E-mail : mnishi@wakayama-med. ac. jp